

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的
加入者寺自身のヘルスリテラシーを向上させ、医療費を適正化する。

事業全体の目標
特定健診、特定保健指導の受診率及び継続率を向上させる。
健康白書を作成し、事業主との共同事業の企画・運用の仕組みを構築する。

事業の一覧

職場環境の整備	
疾病予防	健康管理事業推進委員会開催
疾病予防	AWP 定例MTGの実施
疾病予防	事業主と連携した健康宣言および健康経営の推進
疾病予防	健康白書の作成
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	医療費通知配布
保健指導宣伝	機関紙等発行
保健指導宣伝	新入社員向けしおり配布
疾病予防	健康ポータルサイト運営
疾病予防	ジェネリック通知配布
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健診・生活習慣病健診（被扶養者・任意継続）
特定健康診査事業	特定健診（被保険者）
特定健康診査事業	総合健診（被保険者）
特定保健指導事業	特定保健指導（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導（被保険者）
疾病予防	生活習慣病改善サポート
疾病予防	人間ドック費用補助
疾病予防	ストレスチェック
疾病予防	禁煙促進
疾病予防	インフルエンザ費用補助
疾病予防	電話健康相談
疾病予防	メンタルヘルスカウンセリング
疾病予防	糖尿病等重症化予防
疾病予防	歯科健診の受診勧奨
疾病予防	事業所用常備薬の配布
疾病予防	えらべる倶楽部の運用
体育奨励	運動習慣の改善
直営保養所	保養所の運営

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連								
				対象 事業所	性別	年齢						対象者	実施計画													
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度						
アウトプット指標												アウトカム指標														
疾病 予防	1,2	既存	健康管理事業 推進委員会開催	全て	男女	18 ～ （上限なし）	加入者 全員	2	ケ,シ	事業主の行う本社衛生委員会と同時開催とし、毎月開催。健康リテラシーの向上施策や保険事業の実施の共有と参加者から意見集約を実施。また4半期に1度、衛生委員会のない小規模な営業所にも議事を共有する。	ア,イ,ケ	事業主、衛生管理者、産業医、保健師、労働組合の代表のほか、一般従業員代表者も出席。	-	-	-	-	-	-	衛生委員会に毎月参加し、健康管理事業推進委員会を開催し、保健事業の企画、計画、結果の分析を健康管理委員と共有、意見交換を行い、実効性の高い保健事業実施を実現する。	特定保健指導の実施率が低い。 糖尿病、高血圧症の一人当たり医療費が高く、いずれも他の健保組合よりも高い。						
													-	-	-	-	-	-			毎月の本社衛生委員会に参加し、健康管理事業推進委員会を開催。現課題や今後の計画を共有し、意見交換を実施。	毎月の本社衛生委員会に参加し、健康管理事業推進委員会を開催。現課題や今後の計画を共有し、意見交換を実施。	毎月の本社衛生委員会に参加し、健康管理事業推進委員会を開催。現課題や今後の計画を共有し、意見交換を実施。			
	健康管理事業推進委員会を開催(【実績値】 - 12回)-												【目標値】平成30年度：-回 令和元年度：-回 令和2年度：-回 令和3年度：12回 令和4年度：12回 令和5年度：12回)-					会議体でありアウトカムの設定はできないため(アウトカムは設定されていません)								
	1,2,5	既存	AWP定例MTGの実施	一部の事業所	男女	18 ～ （上限なし）	被保険者	2	ケ,シ	事業主の行う社員向け健康推進施策であるAXA Wellness Program(AWP)の会議に出席し、事業主と一体となった健康課題への取り組みを推進する。	ア,イ	会社のウェルネス推進マネージャー、産業医、保健師と連携	-	-	-	-	-	-	毎週の開催に参加し、現課題や今後の計画を共有し、事業主と一体となり、ヘルスリテラシ向上策や保険事業等を実施して く	毎週の開催に参加し、現課題や今後の計画を共有し、事業主と一体となり、ヘルスリテラシ向上策や保険事業等を実施して く	毎週の開催に参加し、現課題や今後の計画を共有し、事業主と一体となり、ヘルスリテラシ向上策や保険事業等を実施して く	毎週の開催に参加し、現課題や今後の計画を共有し、事業主と一体となり、ヘルスリテラシ向上策や保険事業等を実施して く	毎週の開催に参加し、現課題や今後の計画を共有し、事業主と一体となり、ヘルスリテラシ向上策や保険事業等を実施して く	毎週の開催に参加し、現課題や今後の計画を共有し、事業主と一体となり、ヘルスリテラシ向上策や保険事業等を実施して く	特定保健指導の実施率が低い。 糖尿病、高血圧症の一人当たり医療費が高く、いずれも他の健保組合よりも高い。 男女とも「肥満者」の割合が他の健保組合より高く、「受診勧奨基準値以上」の割合が多い。 被保険者・被扶養者ともに婦人科系の悪性新生物の一人当たり医療費が他の健保組合よりも高い。	
													-	-	-	-	-	-								毎週の開催に参加し、現課題や今後の計画を共有し、事業主と一体となり、ヘルスリテラシ向上策や保険事業等を実施して く
AWP定例MTGへの参加(【実績値】 - 12回)-												【目標値】平成30年度：-回 令和元年度：-回 令和2年度：-回 令和3年度：52回 令和4年度：52回 令和5年度：52回)-					会議体でありアウトカムの設定はできないため(アウトカムは設定されていません)									
1,2	既存	事業主と連携した健康宣言および健康経営の推進	母体企業	男女	18 ～ （上限なし）	加入者 全員	3	エ,キ,シ	事業主と連携し、健康経営推進のための取り組みを行い、金の認定、銀の認定および健康経営優良法人ホワイ500を継続取得する	ア,イ	人事部門、健康増進センター、健保が連携	-	-	-	-	-	-	事業主と連携し、金の認定、銀の認定および健康経営優良法人ホワイ500を継続取得のための取り組みと申請を行う	事業主と連携し、金の認定、銀の認定および健康経営優良法人ホワイ500を継続取得のための取り組みと申請を行う	事業主と連携し、金の認定、銀の認定および健康経営優良法人ホワイ500を継続取得のための取り組みと申請を行う	事業主と連携し、金の認定、銀の認定および健康経営優良法人ホワイ500を継続取得し、全社員に周知することにより健康への意識付けを行う	特定保健指導の実施率が低い。 糖尿病、高血圧症の一人当たり医療費が高く、いずれも他の健保組合よりも高い。 男女とも「肥満者」の割合が他の健保組合より高く、「受診勧奨基準値以上」の割合が多い。 被保険者・被扶養者ともに婦人科系の悪性新生物の一人当たり医療費が他の健保組合よりも高い。				
												-	-	-	-	-	-						事業主と連携し、金の認定、銀の認定および健康経営優良法人ホワイ500を継続取得のための取り組みと申請を行う	事業主と連携し、金の認定、銀の認定および健康経営優良法人ホワイ500を継続取得のための取り組みと申請を行う	事業主と連携し、金の認定、銀の認定および健康経営優良法人ホワイ500を継続取得のための取り組みと申請を行う	
金の認定取得(【実績値】 - 12回)-												【目標値】平成30年度：-件 令和元年度：-件 令和2年度：-件 令和3年度：1件 令和4年度：1件 令和5年度：1件)aksa生命					認証取得でありアウトカムの設定はできないため(アウトカムは設定されていません)									
ホワイ500取得(【実績値】 1件 12回)-												【目標値】平成30年度：-件 令和元年度：-件 令和2年度：-件 令和3年度：1件 令和4年度：1件 令和5年度：1件)aksa生命														
銀の認定(【実績値】 - 12回)-												【目標値】平成30年度：-件 令和元年度：-件 令和2年度：-件 令和3年度：1件 令和4年度：1件 令和5年度：1件)aksaダイレクト生命														
1,2	新規 作成	健康白書の作成	全て	男女	18 ～ 74	加入者 全員	1	イ,ウ,エ,キ,シ	健診結果、レセプトから外部機関のツールを活用し、健康課題を分析し、その結果について事業主や加入者と共有する	ア,イ,オ,ケ	分析結果について、人事部門や健康増進センターと共有し、課題への対応策を検討する	-	-	-	-	-	-	「健康白書」のアップデートと必要に応じた分析結果の公表	「健康白書」のアップデートと必要に応じた分析結果の公表	「健康白書」のアップデートと必要に応じた分析結果の公表	健診結果、レセプト分析から、加入者の健康状態や生活習慣の「見える化」を図り、健康課題を特定の上、データに裏付けられた保健事業の実施につなげる。	被扶養者の特定健診受診率が低い。 特定保健指導の実施率が低い。 糖尿病、高血圧症の一人当たり医療費が高く、いずれも他の健保組合よりも高い。				
												-	-	-	-	-	-									
年間発行回数(【実績値】 - 12回)-												【目標値】平成30年度：-回 令和元年度：-回 令和2年度：-回 令和3年度：1回 令和4年度：1回 令和5年度：1回)-					当事業は、他の保険事業を補完するする位置づけであり、当取り組みだけで特定のアウトカムを設定することは困難である(アウトカムは設定されていません)									
加入者への意識づけ																										
保健指導 宣伝	2	既存	医療費通知配布	全て	男女	0 ～ （上限なし）	加入者 全員	1	イ,ウ,エ	健康ポータルサイト（PEPUP）を導入し、毎月医療費通知を行う	ア,キ,ス	レセプトからの医療費の分析および健康ポータルサイト（PEPUP）の提供に関し外部委託先を活用	-	-	-	-	-	-	ジェネリック通知配布を実施する	ジェネリック通知配布を実施する	ジェネリック通知配布を実施する	毎月医療費通知を行う	毎月医療費通知を行う	毎月医療費通知を行う	加入者自身の医療費を認識させ、適正な医療費支出と加入者の健康保険制度に対する理解を深める	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
													-	-	-	-	-	-								
	医療費通知の実施回数(【実績値】 1回 12回)-												【目標値】平成30年度：1回 令和元年度：1回 令和2年度：1回 令和3年度：12回 令和4年度：12回 令和5年度：12回)-					加入者への意識付けの観点からアウトカム評価を行うことは難しいため、青戸ブツの観点から評価を行う。(アウトカムは設定されていません)								
													-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者				注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連					
				対象 事業所	性別	年 齢	対象者						実施計画												
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度							
アウトプット指標													アウトカム指標												
	2	既存	機関紙等発行	全て	男女	18 ～ 74	被保険 者	1	エ,シ,ス	「健保ニュース」を年2回メールおよび紙で配布するとともに、機関紙を補完する「アクサウェルネス通信」を隔月で集計する。	ア,ス	「健保ニュース」のテーマは健保から提供のうえ外部委託先で作成し、「アクサウェルネス通信」については、健康増進センターと連携し作成する。	-	-	-	定期的に発行し、加入者の健康リテラシーの向上を図る	定期的に発行し、加入者の健康リテラシーの向上を図る	定期的に発行し、加入者の健康リテラシーの向上を図る	健保の現状、健保を取り巻く環境変化、各種事業の実施状況などを加入者と共有するとともに加入者の健康リテラシーの向上を図る。	被扶養者の特定健診受診率が低い。 特定保健指導の実施率が低い。 糖尿病、高血圧症の一人当たり医療費が高く、いずれも他の健保組合よりも高い。 男女とも「肥満者」の割合が他の健保組合より高く、「受診勧奨基準値以上」の割合が多い。 被保険者・被扶養者ともに婦人科系の悪性新生物の一人当たり医療費が他の健保組合よりも高い。					
	健保ニュースの発行(【実績値】2回 【目標値】平成30年度：-回 令和元年度：-回 令和2年度：-回 令和3年度：2回 令和4年度：2回 令和5年度：2回)全被保険者へ配布、健保HPを通して全加入者が見られるようにする													機関紙発行につきアウトカムの設定ができないため(アウトカムは設定されていません)											
	アクサウェルネス通信の発行(【実績値】- 【目標値】平成30年度：-回 令和元年度：-回 令和2年度：-回 令和3年度：6回 令和4年度：6回 令和5年度：6回)全被保険者へ配布、健保HPを通して全加入者が見られるようにする																								
	2	既存	新入社員向けしおり配布	全て	男女	18 (上 限 なし)	加入者 全員	1	ス	入社時に保険証とあわせて「しおり」を事業主経由で配布	ア,ス	「しおり」配布を事業主に依頼	-	-	-	入社時保険証交付時に配布	入社時保険証交付時に配布	入社時保険証交付時に配布	健康保険組合の概要、ホームページ、取り入れているＩＣＴなど健保利用に関する情報提供し、健康保険に対する理解を深める。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）					
	配布率(【実績値】100％ 【目標値】平成30年度：-％ 令和元年度：-％ 令和2年度：-％ 令和3年度：100％ 令和4年度：100％ 令和5年度：100％)入社する全被保険者へ配布													配布を目標としておりアウトカムの設定ができないため(アウトカムは設定されていません)											
疾病 予防	2,5	既存	健康ポータルサイト運営	全て	男女	0 (上 限 なし)	加入者 全員	3	ア,エ,カ,ク,ケ	外部委託により健康ポータルサイト（PEP UP）を導入し、加入者の登録・利用促進を行う	ア,コ	外部委託先から健康ポータルサイト（PEP UP）の提供を受け、加入者の登録・利用促進のため人事部門と連携する	事業主のイベントに合わせてキャンペーンを行う	事業主のイベントに合わせてキャンペーンを行う 医療費通知のWEB化と連動させる	事業主のイベントに合わせてキャンペーンを行う	健康記事の配信 事業主のイベントに合わせて2次健診費用補助の申請対応。	健康記事の配信。事業主のイベントに合わせてキャンペーンを行う	健康記事の配信。事業主のイベントに合わせてキャンペーンを行う	ＩＣＴ活用により加入者のヘルスリテラシーを向上させるとともに、保健事業に関する各種申請手続きの効率化を図る	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）					
	PEP UP登録率(【実績値】12.5％ 【目標値】平成30年度：15％ 令和元年度：20％ 令和2年度：30％ 令和3年度：40％ 令和4年度：50％ 令和5年度：55％)-													ポータルサイト運営の為(アウトカムは設定されていません)											
	2,7	既存 (法定)	ジェネリック通知配布	全て	男女	0 (上 限 なし)	加入者 全員	1	エ,カ,キ,ク,シ	健康ポータルサイト（PEP UP）を導入し、3か月に一度ジェネリック通知を行う	ア,オ	レセプトからの医療費の分析および健康ポータルサイト（PEP UP）の提供に関し外部委託先を活用	ジェネリック通知配布を実施する	ジェネリック通知配布を実施する 医療費通知のWEB化	ジェネリック通知配布を実施する	ジェネリック通知配布を実施する	ジェネリック通知配布を実施する	ジェネリック通知配布を実施する	ジェネリック使用を促し医療費の抑制を図る。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）					
ジェネリック通知の実施回数(【実績値】1回 【目標値】平成30年度：1回 令和元年度：1回 令和2年度：1回 令和3年度：4回 令和4年度：4回 令和5年度：4回)健康ポータルサイト（PEP UP）を通じて実施													ジェネリック利用率(【実績値】70.5％ 【目標値】平成30年度：72.5％ 令和元年度：74.5％ 令和2年度：76.5％ 令和3年度：80％ 令和4年度：80％ 令和5年度：80％)-												
個別の事業																									
特定健康 診査 事業	3	既存 (法定)	特定健診・生活習慣病健診（被扶養者・任意継続）	全て	男女	40 ～ 74	被扶養者、任意継続者	3	ア,イ,エ,カ,キ,ク,ケ	対象者の案内送付先に関し住所確認を行い、健診案内を郵送にて外部委託先を活用し行う 申し込みはWebまたはTELにて行うとともに、定期的に受診勧奨を行なう 他の保険者等との共同健診など受診率向上のための取り組みを検討・実施する	ア,イ,エ,サ	健診予約および受診管理に関して外部委託を行なうとともに、受診勧奨については対象者に直接の他、事業主と連携し被保険者を通じて行う必要に応じ受診率向上のため他の保険者と連携する	被扶養者への案内は被保険者を通じてではなく直接送付する。 被扶養者の健診は他健保との共同健診も利用する。	-	-	-	前年度の受診状況を見直し改善を行う	前年度の受診状況を見直し改善えお行う	前年度の受診状況を見直し改善を行う 受診率向上施策を検討する	健保を通さず受診した場合にインセンティブを付与することで結果提出を促す	他の健保組合と共同して集合健診を実施し、受診率の向上を図る	被扶養者の生活習慣病予防および重症化予防。	被扶養者の特定健診受診率が低い。 糖尿病、高血圧症の一人当たり医療費が高く、いずれも他の健保組合よりも高い。 男女とも「肥満者」の割合が他の健保組合より高く、「受診勧奨基準値以上」の割合が多い。 被保険者・被扶養者ともに婦人科系の悪性新生物の一人当たり医療費が他の健保組合よりも高い。		
	被扶養者健診受診率(【実績値】40％ 【目標値】平成30年度：-％ 令和元年度：-％ 令和2年度：-％ 令和3年度：72％ 令和4年度：75％ 令和5年度：80％)H28被扶養者受診率：50.4％、R3以降は国への報告からデータ抽出（特定健診受診者数/特定健診対象者）													被扶養者特定保健指導対象者率(【実績値】- 【目標値】平成30年度：52％ 令和元年度：54％ 令和2年度：56％ 令和3年度：6％ 令和4年度：5.8％ 令和5年度：5.5％)R3以降は国への報告からデータ抽出											
	受診勧奨回数(【実績値】- 【目標値】平成30年度：-回 令和元年度：-回 令和2年度：-回 令和3年度：3回 令和4年度：3回 令和5年度：3回)-																								

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連							
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画													
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度						
アウトプット指標													アウトカム指標													
情報提供書回収率(【実績値】 37% 【目標値】 平成30年度：40% 令和元年度：50% 令和2年度：55% 令和3年度：70% 令和4年度：75% 令和5年度：80%)-																										
3	既存 (法定)		特定健診（被保険者）	全て	男女	40～74	被保険者	3	イ,ウ,エ,カ,キ,ク,ケ,シ	案内は外部委託先を活用しメールで行い、申し込みはWebにて行う定期的に受診勧奨を行なう	ア,イ,コ,サ	健診予約および受診管理に関して外部委託を行なうとともに、受診勧奨については対象者に直接の他、事業主と連携し職制を通じて行う	-	-	-	事業主と連携しつつ前年度の受診状況を見直し改善を行う	事業主と連携しつつ前年度の受診状況を見直し改善を行う	事業主と連携しつつ前年度の受診状況を見直し改善を行う	被保険者の生活習慣病予防および重症化予防。	糖尿病、高血圧症の一人当たり医療費が高く、いずれも他の健保組合よりも高い。 男女とも「肥満者」の割合が他の健保組合より高く、「受診勧奨基準値以上」の割合が多い。 被保険者・被扶養者ともに婦人科系の悪性新生物の一人当たり医療費が他の健保組合よりも高い。						
被保険者健診受診率(【実績値】 - 【目標値】 平成30年度：-% 令和元年度：-% 令和2年度：-% 令和3年度：97% 令和4年度：98% 令和5年度：99%)-													被保険者特定保健指導対象者率(【実績値】 - 【目標値】 平成30年度：-% 令和元年度：-% 令和2年度：-% 令和3年度：20% 令和4年度：19% 令和5年度：18%)-													
受診勧奨回数(【実績値】 - 【目標値】 平成30年度：-回 令和元年度：-回 令和2年度：-回 令和3年度：3回 令和4年度：3回 令和5年度：3回)-																										
3	既存 (法定)		総合健診（被保険者）	全て	男女	18～74	被保険者	3	ア,イ,ウ,エ,カ,キ,ク,ケ,シ	事業主の行う法定健診にがん検診をセットした総合健診として実施申し込みはWebにて行う案内は外部委託先を活用しメールで行い、定期的に受診勧奨を行なう	ア,イ,オ,コ,サ	健診予約および受診管理に関して外部委託を行なうとともに、受診勧奨については対象者に直接の他、事業主と連携し職制を通じて行う	事業主と協働で実施する	事業主と協働で実施する	事業主と協働で実施する	事業主と協働で実施する	事業主と協働で実施する	事業主と協働で実施する	被保険者の健康管理と疾病の早期発見	糖尿病、高血圧症の一人当たり医療費が高く、いずれも他の健保組合よりも高い。 男女とも「肥満者」の割合が他の健保組合より高く、「受診勧奨基準値以上」の割合が多い。 被保険者・被扶養者ともに婦人科系の悪性新生物の一人当たり医療費が他の健保組合よりも高い。						
未受診者への受診勧奨(【実績値】 - 【目標値】 平成30年度：4回 令和元年度：4回 令和2年度：4回 令和3年度：4回 令和4年度：4回 令和5年度：4回)-													被保険者健診受診率(【実績値】 97% 【目標値】 平成30年度：97% 令和元年度：98% 令和2年度：98% 令和3年度：97% 令和4年度：98% 令和5年度：99%)-													
特定保健指導事業	4	既存 (法定)	特定保健指導（被扶養者）	全て	男女	40～74	基準該当者	1	ア,エ,カ,キ,ク,ケ	対象者を抽出し、外部委託先による保健指導を実施ICT面談やモデル実施を活用することで参加率の向上を図る	ア,ウ	外部委託先を活用することで効果向上を図る	ICTを活用した業務委託先を新たに加えて実施する。	前年参加状況をもとに見直して実施する。40歳未満の者への保健指導を実施する。	前年参加状況をもとに見直して実施する。	前年参加状況をもとに見直して実施する。モデル実施の活用	前年参加状況をもとに見直して実施する。モデル実施の活用	前年参加状況をもとに見直して実施する。モデル実施の活用	被扶養者の生活習慣病予防および重症化予防。	特定保健指導の実施率が低い。 被扶養者の特定健診受診率が低い。 糖尿病、高血圧症の一人当たり医療費が高く、いずれも他の健保組合よりも高い。 男女とも「肥満者」の割合が他の健保組合より高く、「受診勧奨基準値以上」の割合が多い。						
	特定保健指導実施率(【実績値】 11.5% 【目標値】 平成30年度：-% 令和元年度：-% 令和2年度：-% 令和3年度：5% 令和4年度：10% 令和5年度：15%)終了者の割合													特定保健指導対象者率(【実績値】 - 【目標値】 平成30年度：40% 令和元年度：50% 令和2年度：60% 令和3年度：6% 令和4年度：5.5% 令和5年度：5%)-												
	受診勧奨回数(【実績値】 - 【目標値】 平成30年度：-回 令和元年度：-回 令和2年度：-回 令和3年度：3回 令和4年度：3回 令和5年度：3回)-																									
	4	既存 (法定)	特定保健指導（被保険者）	全て	男女	40～74	基準該当者	3	ア,エ,カ,キ,ク,ケ,シ	対象者を抽出し、外部委託先による保健指導を実施ICT面談やモデル実施を活用することで参加率の向上を図る	ア,ケ,コ	外部委託先を活用することで効果向上を図る事業主と連携し、職制を通じた参加勧奨を行なう	-	-	-	前年参加状況をもとに見直して実施する。モデル実施の活用職制を通じた参加勧奨	前年参加状況をもとに見直して実施する。モデル実施の活用職制を通じた参加勧奨	前年参加状況をもとに見直して実施する。モデル実施の活用職制を通じた参加勧奨	被保険者の生活習慣病予防および重症化予防。	特定保健指導の実施率が低い。 糖尿病、高血圧症の一人当たり医療費が高く、いずれも他の健保組合よりも高い。 男女とも「肥満者」の割合が他の健保組合より高く、「受診勧奨基準値以上」の割合が多い。						
	特定保健指導実施率(【実績値】 11.5% 【目標値】 平成30年度：-% 令和元年度：-% 令和2年度：-% 令和3年度：40% 令和4年度：50% 令和5年度：55%)-													特定保健指導対象者率(【実績値】 - 【目標値】 平成30年度：-% 令和元年度：-% 令和2年度：-% 令和3年度：20% 令和4年度：19% 令和5年度：18%)-												
疾病予防	4	新規	生活習慣病改善サポート	全て	男女	35～39	基準該当者	1	エ,キ,ク,ケ,シ	特定保健指導対象者基準の35歳から39歳の若年層（特定保健指導対象予備軍）を抽出し、生活習慣改善の保健指導を実施する。	ア,イ,ウ,コ	専門家に外部委託し、より効果的な施策を講じる事業主と連携し、積極的な参加を促す	外部委託業者を選定の上、「糖尿病性腎症予防プログラム」を確立する。	プログラムを周知し、対象者を設定のうえ、参加を促進する。	事業主からの参加勧奨を強化し、参加率の向上を図る。	特定保健指導の若年層向けプログラムの構築と運用開始	前年度取組み状況を分析しプログラムの内容を精査・改善する。	前年度取組み状況を分析しプログラムの内容を精査・改善する。	特定保健指導対象者基準に該当する35歳から39歳の若年層（特定保健指導対象予備軍）を抽出し、40歳時点で特定保健指導の対象外となることを目指し生活習慣改善の保健指導を実施。結果的に特定保健指導対象者割合の減少を図る。	糖尿病、高血圧症の一人当たり医療費が高く、いずれも他の健保組合よりも高い。 男女とも「肥満者」の割合が他の健保組合より高く、「受診勧奨基準値以上」の割合が多い。						
	プログラムの案内(【実績値】 - 【目標値】 平成30年度：-回 令和元年度：-回 令和2年度：-回 令和3年度：1回 令和4年度：1回 令和5年度：1回)対象者の抽出および案内。													特定保健指導対象者率(【実績値】 - 【目標値】 平成30年度：5% 令和元年度：5% 令和2年度：5% 令和3年度：20% 令和4年度：19% 令和5年度：18%)-												
	プログラム参加率(【実績値】 - 【目標値】 平成30年度：-% 令和元年度：-% 令和2年度：-% 令和3年度：30% 令和4年度：40% 令和5年度：50%)-																									
														-	-	-	-	-	-							

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連				
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画										
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度			
アウトプット指標												アウトカム指標											
3	既存	人間ドック費用補助	全て	男女	18～74	基準該当者	1	イ,ウ,ケ	被保険者の総合健診、被扶養者の健診にかえて人間ドックを利用する場合、本人負担を実費から費用補助額を控除した額とするスキームを提供する	ア,キ,コ	健診予約および受診管理に関する外部委託先と当スキームを構築する	事業主の法定健診、特定健診に代えて受診できるものとし、費用補助を行う	事業主の法定健診、特定健診に代えて受診できるものとし、費用補助を行う	事業主の法定健診、特定健診に代えて受診できるものとし、費用補助を行う	事業主の法定健診、特定健診に代えて受診できるものとし、費用補助を行う	事業主の法定健診、特定健診に代えて受診できるものとし、費用補助を行う	健診の選択肢を増やすことで法定健診、特定健診の受診率の向上を図り、健康状態を把握するとともに重症化予防につなげる	被扶養者の特定健診受診率が低い。 被保険者・被扶養者ともに婦人科系の悪性新生物の一人当たり医療費が他の健保組合よりも高い。					
費用補助内容の案内回数(【実績値】 1回 【目標値】 平成30年度：2回 令和元年度：2回 令和2年度：2回 令和3年度：2回 令和4年度：2回 令和5年度：2回)-												総合健診受診率：被保険者(【実績値】 97% 【目標値】 平成30年度：97% 令和元年度：98% 令和2年度：98% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)-											
-												被扶養者健診受診率(【実績値】 50.4% 【目標値】 平成30年度：-% 令和元年度：-% 令和2年度：-% 令和3年度：55% 令和4年度：58% 令和5年度：61%)i-wellnessより被扶養者全年齢の受診率確認											
1,6	既存	ストレスチェック	全て	男女	18～(上限なし)	被保険者	3	エ,ケ,シ	法定のストレスチェックをICTを活用し実施し、実施後事業主と分析結果について共有する	ア,イ,ウ,コ,サ	事業主と連携し、外部委託先を活用し実施実施後の分析結果については、人事部門、コンプラ部門、産業医と共有し、高ストレス者への対応等を行なう	年1回事業主と協働し業務委託で実施する。	年1回事業主と協働し業務委託で実施する。	年1回事業主と協働し業務委託で実施する。	年1回事業主と協働し業務委託で実施する。分析結果について事業主と共有する。	年1回事業主と協働し業務委託で実施する。分析結果について事業主と共有する。	ストレスチェックの法定対応とメンタルヘルスの1次予防	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）					
回答率(【実績値】 65.9% 【目標値】 平成30年度：68.9% 令和元年度：71.9% 令和2年度：74.9% 令和3年度：77.9% 令和4年度：80.9% 令和5年度：83.9%)-												メンタル系疾患受療率(【実績値】 - 【目標値】 平成30年度：1% 令和元年度：1% 令和2年度：1% 令和3年度：10% 令和4年度：9.9% 令和5年度：9.8%)メンタル系疾患受療者数 / 被保険者											
2,5	新規	禁煙促進	全て	男女	18～74	被保険者	3	ア,エ,ケ,シ	事業主と連携して就業時間禁煙を就業規則で規定化し、あわせて喫煙者に対し禁煙補助を実施することで喫煙率の低下を図る喫煙者に禁煙を促すため、事業主と連携し、禁煙キャンペーンを実施する	ア,イ,ウ,ス	禁煙のための費用補助に加え、外部委託を通じ、ICTを活用した禁煙プログラムを構築する禁煙促進のため、事業主、産業医と連携し、禁煙キャンペーンを実施する	禁煙補助規程を整備するとともに禁煙啓もうツールを作成するとともに事業主と連携した「禁煙キャンペーン」を実施する	前年の状況を踏まえた「禁煙キャンペーン」を実施するとともに事業主と連携し、職場内終日禁煙を実現し、禁煙を促進する	前年の状況を踏まえた「禁煙キャンペーン」を実施するとともに事業主と連携し、職場内終日禁煙を実現し、禁煙を促進する	健保が費用負担する禁煙サポートを継続する事業主と一体となった禁煙キャンペーンを実施する	健保が費用負担する禁煙サポートを継続する前年の状況を踏まえた「禁煙キャンペーン」を実施する	健保が費用負担する禁煙サポートを継続する前年の状況を踏まえた「禁煙キャンペーン」を実施する	喫煙率の低下	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）				
禁煙サポート申込者数(【実績値】 - 【目標値】 平成30年度：-人 令和元年度：-人 令和2年度：-人 令和3年度：30人 令和4年度：30人 令和5年度：30人)健保が継続して実施している禁煙サポートにより服薬等による禁煙がしやすい環境を加入者に提供する												加入者喫煙率(【実績値】 30% 【目標値】 平成30年度：28% 令和元年度：24% 令和2年度：24% 令和3年度：25% 令和4年度：23% 令和5年度：20%)定期健診時の問診票より											
禁煙に関するキャンペーン実施(【実績値】 - 【目標値】 平成30年度：-回 令和元年度：-回 令和2年度：-回 令和3年度：1回 令和4年度：1回 令和5年度：1回)禁煙キャンペーン、禁煙サポートインセンティブ付与キャンペーン等												-											
8	既存	インフルエンザ費用補助	全て	男女	18～74	被保険者	1	エ,ケ	被保険者に関しインフルエンザワクチン接種時に1,000円の費用補助を実施する特定事業所で、費用補助を考慮した一律の料金設定で、集団接種を実施する	ア,ウ,コ	費用補助については事業主経由で給与支払にて対応する医療機関および各事業所の代表担当者と連携し、集団接種を実施する	年1回予防接種者を受けた被保険者に1000円補助する。小伝馬町での集団接種実施	年1回予防接種を受けた被保険者に1000円補助する。集団接種の事業所の拡大を検討する。	年1回予防接種者を受けた被保険者に1000円補助する。集団接種希望事業所を募り、より接種を受けやすくする。	年1回予防接種者を受けた被保険者に1000円補助する。集団接種希望事業所を募り、より接種を受けやすくする。	年1回予防接種者を受けた被保険者に1000円補助する。集団接種希望事業所を募り、より接種を受けやすくする。	インフルエンザ罹患者の減少	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）					
費用補助申請者数(【実績値】 922人 【目標値】 平成30年度：1,000人 令和元年度：1,060人 令和2年度：1,120人 令和3年度：1,180人 令和4年度：1,140人 令和5年度：1,200人)-												被保険者罹患率(【実績値】 - 【目標値】 平成30年度：3% 令和元年度：3% 令和2年度：3% 令和3年度：9% 令和4年度：8% 令和5年度：7%)-											
6	既存	電話健康相談	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	ス	外部委託により、電話による健康相談の他、セカンドオピニオン手配に関する相談窓口を設置する	ア,イ,ウ,コ,ス	人事部門、産業医と連携し、外部委託により実施する	業務委託で対応する	業務委託で対応する	業務委託で対応する	健康相談に加え、医師による診断に疑問がある際のセカンドオピニオンサービスを導入し利便性向上を図る案内チラシと携帯カードの配布	英語対応、メール対応可とすることで英語を母語とする方や聾者も使いやすくなる案内チラシと新入社員向け携帯カードの配布	業務委託で対応する案内チラシと新入社員向け携帯カードの配布	加入者の健康全般に関する不安、疑問への対応窓口を提供する。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）				
周知案内(【実績値】 - 【目標値】 平成30年度：1回 令和元年度：3回 令和2年度：3回 令和3年度：2回 令和4年度：2回 令和5年度：2回)-												加入者への健康に関する相談窓口サービスの提供のため(アウトカムは設定されていません)											
6	既存	メンタルヘルスカウンセリング	全て	男女	18～74	加入者全員	1	エ,ス	外部委託により、電話、オンラインによるメンタルヘルスカウンセリングサービスを実施する	ア,イ,ウ,コ	人事部門、産業医と連携し、外部委託にて実施する	業務委託先にて実施する	業務委託先にて実施する	業務委託先にて実施する	案内チラシと携帯カードの配布	案内チラシと新入社員向け携帯カードの配布	案内チラシと新入社員向け携帯カードの配布	メンタルヘルス不全者への早期対応。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）				
周知案内(【実績値】 - 【目標値】 平成30年度：200件 令和元年度：220件 令和2年度：240件 令和3年度：2件 令和4年度：2件 令和5年度：2件)-												メンタル系疾患受療率(【実績値】 65.9% 【目標値】 平成30年度：68.9% 令和元年度：71.9% 令和2年度：74.9% 令和3年度：8.5% 令和4年度：8.4% 令和5年度：8.3%)メンタル系疾患受療被保険者数 / 加入者											
4	新規	糖尿病等重症化予防	全て	男女	18～74	基準該当者	1	イ,ク,シ	糖尿病や高血圧など要受診レベルであるが未受診者を抽出し、対象者に受診勧奨を行ない、相談希望者に対して専門の相談窓口を提供する	ア,イ,ケ,コ	対象者に対し事業主と連携し受診勧奨を行なうとともに、相談希望者に対し産業医・保健師と連携した対応を行なう	外部委託業者を選定の上、「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を確立する。	「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を確立し、軽中度以上の対象者を設定のうえ、参加を促進する	事業主からの参加勧奨を強化し、参加率の向上を図る	重症化予防対象かつ通院していない加入者を抽出し受診勧奨を行う相談希望者については健康増進センターで対応するスキームを構築する	重症化予防対象かつ通院していない加入者を抽出し受診勧奨を行う	重症化予防対象かつ通院していない加入者を抽出し受診勧奨を行う	糖尿病等要受診レベルに該当する対象者に受診勧奨し、重症化予防を行なう	糖尿病、高血圧症の一人当たり医療費が高く、いずれも他の健保組合よりも高い。				

予 算 科 目	注1) 事業 分類	新 規 既 存	事業名	対象者				注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象 事業所	性別	年 齢	対象者						実施計画							
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
アウトプット指標												アウトカム指標								

糖尿病対象者へ受診斡旋(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：0回 令和元年度：50回 令和2年度：50回 令和3年度：1回 令和4年度：1回 令和5年度：1回)-														糖尿病対象者の割合(【実績値】5% 【目標値】平成30年度：5% 令和元年度：5% 令和2年度：5% 令和3年度：6% 令和4年度：5.8% 令和5年度：5.6%)加入者数のうち糖尿病対象者 / 加入者受診者数						
3	既存	歯科健診の受診勧奨	全て	男女	18～74	加入者全員	1	ウ,キ,ク,ケ,シ	長期間歯科健診受診履歴のない加入者を抽出し、受診を促す。	ア,イ,ス	人事部門、産業医と分析結果を共有し、受診勧奨を行なう	-	-	-	-	-	-	-	う蝕や歯周病の重症化を防止し、長期的なスパンで歯科医療費を抑制するため、歯科未受診者を減らす	該当なし
周知案内(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：-回 令和元年度：-回 令和2年度：-回 令和3年度：1回 令和4年度：1回 令和5年度：1回)-														歯科受療率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：-% 令和元年度：-% 令和2年度：-% 令和3年度：45% 令和4年度：46% 令和5年度：47%)定期的な健診を促すため、受療率の増加をアウトカムとする						
8	既存	事業所用常備薬の配布	全て	男女	18～(上限なし)	被保険者	1	ス	各事業所に常備薬を配布する	ス	薬品卸と連携し、常備薬を選定し、配布する	年1回実施する	年1回実施する	年1回実施する	年1回実施する	年1回実施する	年1回実施する	年1回実施する	職場への常備薬配備	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
1年毎の配布回数(【実績値】1回 【目標値】平成30年度：1回 令和元年度：1回 令和2年度：1回 令和3年度：1回 令和4年度：1回 令和5年度：1回)-														職場での常備薬配備のため(アウトカムは設定されていません)						
8	既存	えらべる倶楽部の運用	一部の事業所	男女	18～(上限なし)	加入者全員	3	ス	福利厚生制度の外部委託を活用することで、加入者に事業主・健保共同運用の福利厚生制度を提供する	ア	外部委託を活用し、事業主と共同運営する	事業主と協働で利用	事業主と協働で利用	事業主と協働で利用	事業主と協働で利用	事業主と協働で利用	事業主と協働で利用	事業主と協働で利用	事業主の福利厚生制度と協働利用し加入者に健康増進の場や心身のリフレッシュの場を提供する。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
案内冊子の配布(年)(【実績値】1回 【目標値】平成30年度：1回 令和元年度：1回 令和2年度：1回 令和3年度：1回 令和4年度：1回 令和5年度：1回)-														アウトカム設定が困難なサービスのため(アウトカムは設定されていません)						
体育 奨励	2,5	新規	運動習慣の改善	全て	男女	18～(上限なし)	加入者全員	3	ア,ケ,シ	ア,イ,ウ	法人会員価格で利用できるスポーツクラブの紹介や事業主と連携した運動イベントを実施する運動イベントの参加率向上のためにインセンティブを活用する	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
運動習慣改善に関する案内(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：-回 令和元年度：-回 令和2年度：-回 令和3年度：2回 令和4年度：2回 令和5年度：2回)ルネサンスの斡旋、ウォーキングキャンペーンの案内等														運動習慣の定着(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：-% 令和元年度：-% 令和2年度：-% 令和3年度：22% 令和4年度：23% 令和5年度：24%)定期健診の間診票より運動習慣の有無を確認、30分以上の運動習慣有無						
直営 保養所	8	既存	保養所の運営	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	ス	-	ス	-	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	加入者の健康増進やリフレッシュを図る。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
利用者数(【実績値】180人 【目標値】平成30年度：195人 令和元年度：210人 令和2年度：225人 令和3年度：162人 令和4年度：180人 令和5年度：200人)利用者数														健康増進やリフレッシュ度を測る指標がないため。(アウトカムは設定されていません)						

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 事業名の後に「*」がついている事業は共同事業を指しています。

注3) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注4) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用(情報作成又は情報提供でのICT活用など) オ. 専門職による対面での健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施

キ. 定量的な効果検証の実施 ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 シ. 事業主と健康課題を共有 ス. その他

注5) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 専門職との連携体制の構築(産業医・産業保健師を除く) エ. 他の保険者との共同事業 オ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 カ. 自治体との連携体制の構築 キ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 ク. 保険者協議会との連携体制の構築

ケ. その他の団体との連携体制の構築 コ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) サ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) シ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス／ライブラリーの設置) ス. その他